

天溪 「花のカナディアンロッキー 9日間」

「花のカナディアンロッキー 9日間」を7月11日～7月19日に行いました。

レイクルイーズ周辺は夏の訪れが遅いと言われた昨年より遅く、標高 1800mを越えると旬のアネモネが元気一杯に咲いていました。特にスコークバレーの残雪は凄く、ターミガンレイクやスコークレイクの一部はまだ氷っており見た事も無い光景。ロッジ勤め 16 年のウォルター氏によれば今年が過去最高の残雪量とか。そんな中でも花々や動物達はいろんなパフォーマンスで私達を迎えてくれました。



(渡渉 7/13日)

○スコーク

大自然は勿論動物達の生息地。私は今迄ハイキング中に熊に有った事が有りません。しかし、今年初めて出会いました、と言ってもスコークロッジの裏庭で悠々と食事の大物(写真)。茶色で背中に特徴のコブが有る熊が通称クリズリー。ここに現れた熊は背中にマークがはっきり！デカイトと思ったら小屋の住人曰く‘ミディアム・サイズ’。2時間程して悠々とトイレ脇を通過して森の中へ消えて行きました。夜中にトイレに行かれた方々はさぞ恐怖感を味わった事でしょう。



(雪残るスコークバレー 7/12日)



○ジャスパー

コロンビア大氷原を越え、ジャスパーのマリーン湖畔からオパールヒルへ登りました。分岐の片方の道に立て看板が有り（下の写真）“ここから先は熊生息の為にエリア・クローズ、入ると国立公園法で 25,000 ドル以下の罰金に処す。July 01, 2012 ” と物凄い事が書かれていました。ツアーならガイドが注意するでしょうが個人旅行の皆さんは必読、要注意です。誤って侵入し、クマに襲われ、200 万円の罰金なんて事になりかねませんので。ともあれ話しは飛びましたがオパールヒルのお花畑を楽しんで来ました。



(インディアンペイントブラシ 7/16 日)



○ラーチバレー

当初の情報では残雪多くセンチネル・パスまで登れないとの事。しかし、バンフ入り後 30 度近い日が有ったせいか雪解けが進み登頂成功。景勝 10 ピークスや一寸した高度感を楽しんできました。尚、パスに向け最後の急登に取り掛かる手前で見事に草木と同化したカメレオン風の雷鳥親子を発見。発見者が一枚上手でした！



(10 ピークス 7/17 日)



動植物

残雪の影響か夏の訪れを待ちかねたように花々は美しく賑わい、柔らかい草が残っているせいかいろんな動物達に会う事が出来ました。



次の天溪ツアーは7月20日発 「夏のアルプス・オートルート11日間」をお送りします。